



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月4日

上場会社名 日東紡 上場取引所 東
 コード番号 3110 URL <https://www.nittobo.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長(氏名) 辻 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役 (氏名) 多田 弘行 (TEL) 03-4582-5040
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	62,120	6.4	5,655	32.4	5,976	43.1	4,994	△37.3
2021年3月期第3四半期	58,377	△8.9	4,272	△18.5	4,175	△22.1	7,966	108.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 6,382百万円(17.2%) 2021年3月期第3四半期 5,448百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	128.72	—
2021年3月期第3四半期	205.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	186,846	108,894	55.2
2021年3月期	184,652	104,389	53.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 103,219百万円 2021年3月期 99,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2022年3月期	—	22.50	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	6.7	7,000	17.4	7,200	14.7	6,000	△25.9	154.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	39,935,512株	2021年3月期	39,935,512株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,138,075株	2021年3月期	1,137,268株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	38,797,774株	2021年3月期3Q	38,798,907株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しつつあるもオミクロン株感染拡大もあり、予断を許さない状況が続いています。世界経済は回復基調にあるものの、物流網の混乱が生じたほか、半導体不足、原油価格上昇が相まって、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは2021年4月に新中期経営計画をスタートさせ、持続可能な社会実現のために、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチ No.1を創造し続ける企業グループを目指し、成長戦略の実践と経営基盤の強化に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間では、全体的に業績は回復に向かいました。台湾スペシャルガラス新工場では計画通り試作品の生産を開始し、繊維事業・グラスファイバー複合材は事業構造改革等を遂行しました。

この結果、連結売上高は62,120百万円（前年同四半期比6.4%の増収）、営業利益は5,655百万円（前年同四半期比32.4%の増益）、経常利益は5,976百万円（前年同四半期比43.1%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,994百万円（前年同四半期比37.3%の減益）になりました。

各事業における状況及び取り組みは以下の通りです。

グラスファイバー事業部門に属する原織材事業、機能材事業、設備材事業の状況と具体的な取り組みは、以下の通りです。

原織材事業では、強化プラスチック用途の複合材の販売は堅調に推移しましたが、第1四半期連結会計期間に実施した国内大型溶融炉の定期修繕など一過性の収益マイナス要因が影響しました。この結果、当事業は売上高17,191百万円（前年同四半期比0.7%の増収）、営業利益は1,763百万円（前年同四半期比5.0%の減益）となりました。

機能材事業では、高速大容量通信に資する電子材料向けスペシャルガラス・クロスの伸長が収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高16,475百万円（前年同四半期比11.0%の増収）、営業利益は2,022百万円（前年同四半期比4.9%の増益）となりました。

設備材事業では、住宅向け断熱材の販売が前年同期を上回ったものの、設備・建設資材向けガラスクロスの販売は低調に推移しました。この結果、当事業は売上高13,744百万円（前年同四半期比1.4%の減収）、営業利益は336百万円（前年同四半期比20.4%の増益）となりました。

ライフサイエンス事業のメディカル事業では、国内外とも前年同期の販売を上回りました。飲料事業においては、飲料生産受託の数量が堅調に推移しました。この結果、当事業は売上高12,051百万円（前年同四半期比19.6%の増収）、営業利益は1,850百万円（前年同四半期比19.9%の増益）となりました。

繊維事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による厳しい環境が続いていましたが、外出機会の増加とともに、市況が改善に向かい販売は前年同期を上回りました。また、構造改革では接着芯地等の開発・製造・販売を一体運営する子会社、日東紡アドバンテックス株式会社を軸に、収益改善を進めました。この結果、当事業は売上高2,006百万円（前年同四半期比16.8%の増収）、営業損失は68百万円（前年同四半期は営業損失564百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間におけるライフサイエンス事業の改善や全社的な経費削減等の実績と、足元の事業動向を勘案し営業利益を上方修正しました。また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、当第3四半期連結累計期間での為替差損益の改善、特別損益の実額への見直し等を加味し修正いたしました。

2022年3月期 通期連結業績予想値 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	84,000	6,600	6,600	5,000	128.87
今回修正予想 (B)	84,000	7,000	7,200	6,000	154.65
増減額 (B) - (A)	—	400	600	1,000	
増減率 (%)	—	6.1	9.1	20.0	
前期通期実績 (2021年3月期)	78,727	5,964	6,274	8,100	208.77

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,320	18,211
受取手形及び売掛金	23,985	26,650
商品及び製品	8,598	10,427
仕掛品	4,296	4,835
原材料及び貯蔵品	21,451	22,331
その他	5,237	3,642
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	93,887	86,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,886	19,937
機械装置及び運搬具（純額）	21,246	31,625
土地	14,983	15,331
リース資産（純額）	1,451	1,295
建設仮勘定	10,035	6,836
その他（純額）	1,902	1,860
有形固定資産合計	65,506	76,886
無形固定資産		
投資その他の資産	2,595	3,073
投資有価証券	17,282	15,925
退職給付に係る資産	377	449
繰延税金資産	3,356	2,698
その他	1,664	1,736
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	22,661	20,790
固定資産合計	90,764	100,750
資産合計	184,652	186,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,570	8,090
短期借入金	7,252	12,535
1年内返済予定の長期借入金	5,518	5,101
リース債務	378	323
未払法人税等	2,528	274
賞与引当金	1,080	439
事業構造改善引当金	710	219
その他	9,836	10,127
流動負債合計	33,875	37,111
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	19,322	16,174
リース債務	1,690	1,482
修繕引当金	5,652	4,025
退職給付に係る負債	7,976	7,096
その他	1,746	2,061
固定負債合計	46,387	40,840
負債合計	80,262	77,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	61,831	65,094
自己株式	△2,559	△2,562
株主資本合計	98,008	101,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,714	1,795
為替換算調整勘定	△371	1,239
退職給付に係る調整累計額	△1,220	△1,084
その他の包括利益累計額合計	1,123	1,951
非支配株主持分	5,257	5,674
純資産合計	104,389	108,894
負債純資産合計	184,652	186,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	58,377	62,120
売上原価	39,369	40,956
売上総利益	19,008	21,163
販売費及び一般管理費	14,736	15,507
営業利益	4,272	5,655
営業外収益		
受取利息	13	1
受取配当金	440	450
受取賃貸料	56	56
為替差益	—	94
その他	171	219
営業外収益合計	681	822
営業外費用		
支払利息	188	158
為替差損	163	—
休止賃貸不動産関連費用	250	221
その他	175	121
営業外費用合計	777	501
経常利益	4,175	5,976
特別利益		
固定資産売却益	3,087	—
投資有価証券売却益	6,590	6
修繕引当金戻入額	811	—
受取保険金	1,746	437
補助金収入	—	332
受取賠償金	—	1,062
その他	19	—
特別利益合計	12,254	1,839
特別損失		
固定資産処分損	137	212
事業構造改善費用	3,204	—
災害による損失	2,025	272
固定資産圧縮損	—	302
その他	94	—
特別損失合計	5,460	787
税金等調整前四半期純利益	10,969	7,028
法人税、住民税及び事業税	3,362	874
法人税等調整額	△509	1,049
法人税等合計	2,852	1,923
四半期純利益	8,117	5,105
非支配株主に帰属する四半期純利益	150	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,966	4,994

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	8,117	5,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,715	△865
為替換算調整勘定	△191	2,005
退職給付に係る調整額	238	136
その他の包括利益合計	△2,668	1,276
四半期包括利益	5,448	6,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,279	5,822
非支配株主に係る四半期包括利益	168	560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引について、従来は有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。また、輸出版売において従来は主に船積時点で収益を認識しておりましたが、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の利益剰余金の当期首残高及び損益に与える影響は軽微であります。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	繊維 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	17,072	14,844	13,946	10,072	1,717	57,654	723	58,377	—	58,377
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,102	253	275	388	9	8,028	1,306	9,334	△9,334	—
計	24,175	15,098	14,221	10,460	1,727	65,682	2,029	67,712	△9,334	58,377
セグメント利益 又は損失(△)	1,857	1,927	279	1,543	△564	5,043	180	5,223	△951	4,272

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械設備関連事業及びサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△951百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	繊維 事業	計				
売上高										
顧客との契約から 生じる収益	17,191	16,475	13,744	12,001	2,006	61,420	650	62,071	—	62,071
その他の収益	—	—	—	49	—	49	—	49	—	49
外部顧客への 売上高	17,191	16,475	13,744	12,051	2,006	61,470	650	62,120	—	62,120
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,451	266	362	354	13	8,447	2,521	10,968	△10,968	—
計	24,643	16,741	14,106	12,405	2,020	69,917	3,171	73,089	△10,968	62,120
セグメント利益 又は損失(△)	1,763	2,022	336	1,850	△68	5,904	356	6,261	△605	5,655

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械設備関連事業及びサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△605百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更が当第3四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。